

画像電子学会セミナー
Advanced Image Seminar 2017 (AIS2017)
「VRの実用化と未来」

(講演順が変更となりましたのでご注意ください)

昨年は、VR元年と呼ばれ、「東京ゲームショウ 2016」は、まさに、VR一色であり、PlayStation®VRやVRヘッドマウントディスプレイも登場し、夢が実用化に変化しました。今後、VRは、映像の基盤技術としてあらゆる産業の活性化につながる大きな可能性を有しています。本セミナーでは、実用化されているVR技術を具体的に解説すると共に今後VRの発展について幅広く解説いたします。

主催：画像電子学会
共催：早稲田大学 国際情報通信研究科
協賛：映像情報メディア学会、情報処理学会、電子情報通信学会、日本印刷学会、
日本画像学会、日本写真学会

開催日：2017年7月3日(月)
場所：早稲田大学 西早稲田キャンパス 55号館N第2会議室
東京メトロ 副都心線 西早稲田駅に直結
住所：〒169-8555 新宿区大久保 3-4-1
<https://www.waseda.jp/top/access/nishiwaseda-campus>

参加費：一般会員(協賛学会会員を含む)15,000円/ シニア会員(減免制度利用の方)3,000円
非会員 20,000円/ 学生 3,000円
● 振込手数料はご負担願います。
● 参加者には予稿集とともに、カラーで見やすい講演資料のCD-Rを配布予定です。
※非会員でお申し込み頂いた方で、入会希望の方は、入会金・初年度会費を含む。
※賛助会員には特典があります。詳細はお申し込みの際、下記の学会事務局までお問い合わせください。

振込先：みずほ銀行 浜松町支店
口座番号:(普)1961408 口座名:画像電子学会

申込先：画像電子学会
〒116-0002 東京都荒川区荒川三丁目35番4 ライオンズマンション三河島第二 101号
TEL: 03-5615-2893, FAX:03-5615-2894, e-mail: kikaku@iieej.org

下記事項をご記入の上、学会事務局へメール、またはホームページ
(<http://iieej.org/trans/kenaf.htm>)よりお申込みください。

セミナー名「AIS2017」、参加者氏名、所属、連絡先、資格(会員、シニア会員、非会員、学生、協賛学会名等)、

※ 通信欄に請求書の有無と、懇親会への参加有無も記載ください。

【プログラム】

10:30-10:35 開会挨拶

10:35-11:20 「VR2.0の世界」

講師：東京大学 廣瀬 通孝 氏

本講演では、VR技術のこれまでについて解説したうえで、今回注目を集めている新世代VRであるVR2.0はどこが違うのかについて紹介する。そしてこの技術が今後どう進化し、どうわれわれの考え方や産業や社会に影響を与えていくのかについて、いろいろな角度から考えていきたいと思う。

11:30-12:15 「VR x AIの取り組み」

講師：NTTメディアインテリジェンス研究所 木全 英明 氏

映像音響センシングや通信技術の弛まない進歩により、遠隔地をリアルに再現する高臨場感通信が進歩しています。そこに人工知能（AI）が加わるとどのような世界が展開されるのか。弊社の取り組みを中心とした動向を紹介します。

12:25-13:25 昼食

13:25-14:10 「バーチャルリアリティのための触覚インタフェース技術」

講師：電気通信大学 梶本 裕之 氏

バーチャルリアリティ（VR）環境に触覚情報を付与し、よりリアルなVR環境を実現するための課題を整理するとともに、現在研究室で取り組んでいる事例について紹介します。

14:20-15:05 「テクノロジーが拓げる身体の未来」

講師：慶應義塾大学 南澤 孝太 氏

バーチャルリアリティの普及を経て、人々の体験がコンテンツとして流通する時代が訪れつつある。本講演では触覚を通じて身体的経験を記録・創造・共有する身体性メディアの研究活動を紹介する。

15:15-16:00 「PlayStation®VRの最新技術が支える未来のコンテンツ」

講師：ソニー・インタラクティブエンタテインメントジャパンアジア 秋山 賢成 氏

ソニー・インタラクティブエンタテインメントの最新技術を結集して作られたPlayStation®VR（PS VR）の紹介と、PS VRコンテンツがどのように作られているのかをご説明し、VRが未来にどのように影響するのか考察します。

16:00-16:05 閉会挨拶

○本セミナー終了後、講師の方、聴講者の方を含めた懇親会を予定しています。詳細は当日ご案内させていただきますが、ぜひご参加ください。

○タイトル、内容は変更になる可能性があります。